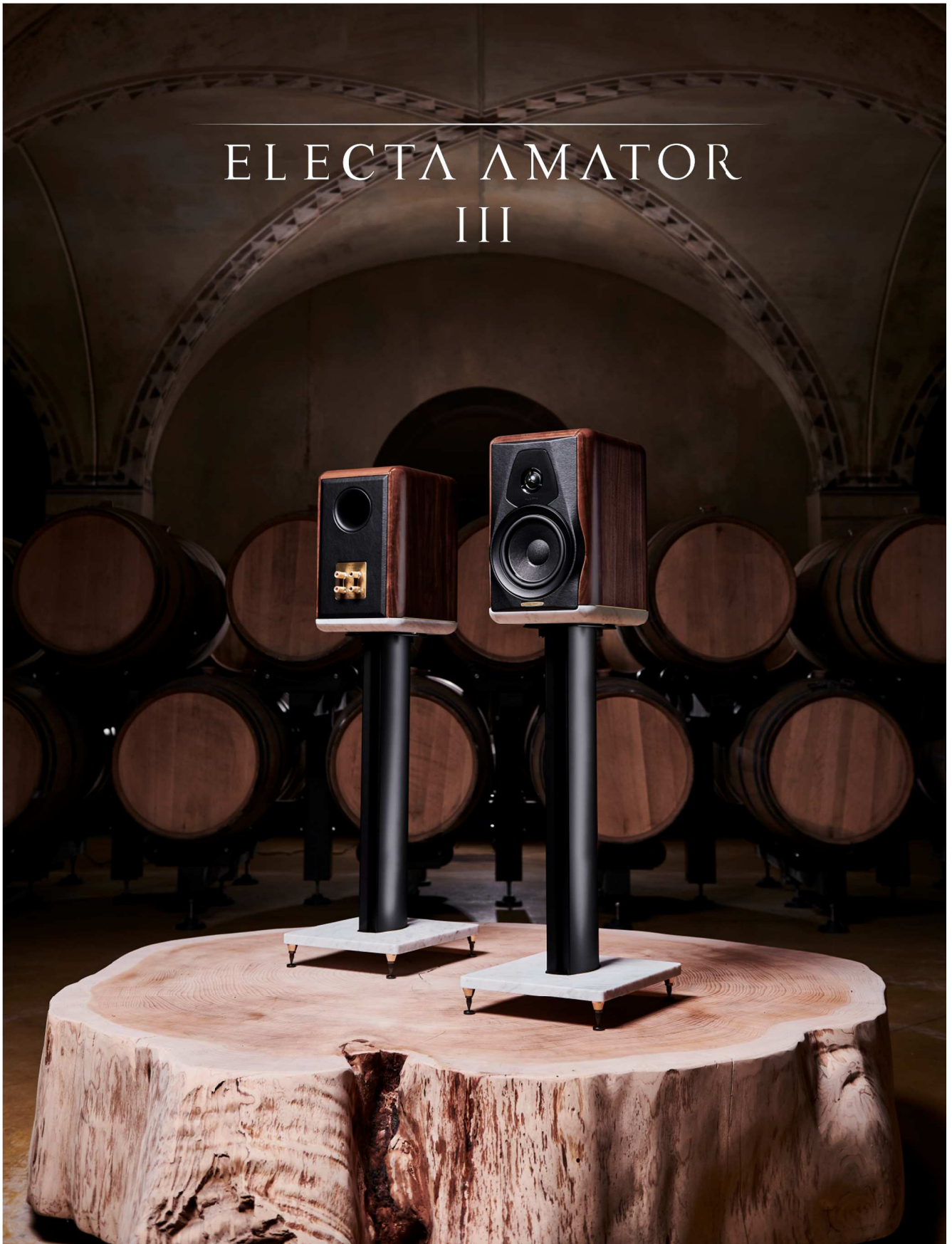


ELECTA AMATOR
III



エレクタ・アマトールⅢ
ソナス・ファベール 35周年記念モデル

■ “再現” と “革新” が注ぎ込まれたデザイン

● 1988年デビューの“エレクタ・アマトル(初代)”はソナス・ファベール最初のモデルであり、当時のオーディオファイルからの憧れの対象でありました。そしてこの度、その初代“エレクタ・アマトル”を彷彿とさせる輪郭や質感といった特徴を継承しながら、新設計となる斬新なデザインになり発売されます。キャビネットの木材には、加工が難しい無垢のウォルナット材を使用、伝統の技術を生かしたソナス・ファベールならではの逸品です。

● スピーカー本体底面部、スタンド底面部にはイタリア北部のカッラーラ産の白大理石を採用。カッラーラは古来より大理石の産地として有名で、ミケランジェロのダビデ像やローマのパルテノン神殿に使われていることでも知られています。その中でも良質な素材を厳選し、職人の手により1つ1つ丁寧に成形をしています。

● フロント/リアパネルは黒レーザーで包み込み、ウォルナット材、金色のメタルインサート、白大理石が見事に調和した繊細で美しい仕上げには、一切の妥協がない、スピーカー製作への熱い情熱が感じられます。



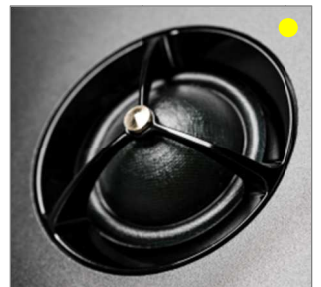
■ 専用設計された新規パーツ群

《ツイーター》 ●

初代“エレクタ・アマトル”で表現されていた3脚のアロー・ポイント・デザインは、当時の形状を踏襲しながらも新設計となる同社独自技術のDAD (Damped Apex Dome) テクノロジーを採用したツイーターとして蘇りました。DADは、ソフトドーム型とリングラジエーターの利点を兼ね備えた近年の同社上位モデルから採用されている技術で、現代ソナス・ファベールのキー・テクノロジーのひとつです。またツイーター背面には、無垢材を使用し複雑な音響迷路を内部で成形している専用チャンバーも採用しています。

《ミッド・ウーファー》 ●

中/低域を担う180mmのミッド・ウーファーは本機の専用新設計ユニットです。ダイヤフラムは高品質のセルロース・パルプを自然乾燥させた素材をブレンドしたカスタムメイド。



形式	2ウェイ 2スピーカー バスレフ方式 ブックシェルフ型スピーカー
ユニット構成	ツイーター:28mmアローポイントDAD シルク・ソフトドーム型 ミッド・ウーファー:180mmコーン型
再生周波数帯域	40~35,000Hz (ステルス・ウルトラフレックス含む)
能率	88dB/W/m
定格インピーダンス	4Ω
クロスオーバー周波数	2,500Hz
外径寸法	W233mm × D348mm × H373mm (本体部) W302 × D355 × H716 (専用スタンド部) W302 × D380 × H1089 (専用スタンド装着時)
本体重量	14.8kg/本 (専用スタンド装着時 26kg/本)
希望小売価格	1,300,000 円(スタンド付属 ペア/税別)